

平成 29 年 3 月 14 日

報道機関各社 様

## 市立札幌病院の救命救急センターの診療体制について

平成 29 年度の市立札幌病院の救命救急センターの診療体制に関する現時点での見通しについて、下記のとおりお知らせいたします。

当院としては、今後とも三次救急に全力を挙げて取り組んでまいります。

### 1 救命救急センター所属医師数について

同センター所属医師の 12 人のうち、平成 29 年 3 月 31 日付で 7 人が退職となり、4 月は 5 人となる見通し。

なお、退職理由については、家族の事情やキャリアアップ等、個々の事情によるものと聞いている。

### 2 今後の診療体制について

#### (1) 増員予定について

現時点で、平成 29 年 7 月 1 日から 1 人の増員、平成 29 年 10 月 1 日に 1 人の復帰を予定。

引き続き、道内外の関係大学への要請等を含め、必要な医師の確保に向けて総力を挙げて取り組んでいく。

#### (2) 北海道大学からの支援

北海道大学に対して、救急医の派遣を要請し、4 月中旬に救命救急センターへの診療応援を開始いただくとともに、その後も可能な限りご支援をいただける予定(支援人数等は現在調整中)。

#### (3) 院内の体制

院内他科の医師が、救命救急センターの業務を支援する。現時点では 4 月以降、週 3 回、それぞれ 1 人が日中の診療に参加する予定であり、今後も引き続き、応援人数の調整を行っていく。

#### (4) 人員体制の見通し

上記により、現時点では救命救急センターの人員体制は次のとおりとなる見通しであるが、引き続き、早期の体制回復に努めていく。

	現在	4 月	5～6 月	7～9 月	10 月
所属医師数	12 人	5 人	5 人	6 人	7 人
院内支援※		週 3 回各 1 人			
北大支援		(調整中)	(調整中)	(調整中)	(調整中)

### 3 札幌医療圏における三次救急診療体制について

市立札幌病院は、現在1日あたり平均1～2件の三次救急患者の搬送を受け入れているところである。

従来から、5つの三次救急医療機関は必要に応じてそれぞれ情報交換し、互いに協力しながら札幌医療圏全体の三次救急医療を担ってきており、救命救急センター医長から、市内の4つの三次救急医療機関に対して、来年度の当院の三次救急診療体制に係る現時点の見通しなどを個別に説明したところ。

今後については、上記2のとおり、診療体制の早期回復を図っていくとともに、他の三次救急医療機関との連携を一層強化し、札幌医療圏全体の三次救急診療体制の確保に努めていく。

問い合わせ先

病院局経営管理室経営管理部総務課 高田、横谷

電話：726-2211（代）